

大分方式乾燥材とは？

これまでのスギ乾燥柱材は、乾燥時間の短縮を目的とした高温乾燥が主流であり、黒っぽい材色や内部割れがある等の問題がありました。

大分方式乾燥とは、大分県林業試験場で開発した乾燥法で、高温セット処理と天然乾燥を組み合わせ、高品質の乾燥材生産方式です。この方式による乾燥材は、内部割れがほとんどないなど理想的な乾燥材です。



大分方式乾燥材

▼大分方式乾燥材

▼高温乾燥材



含水率20%以下!! 内部割れがない!!
寸法変化が殆ど無く優れた建築材になる!!

大分方式乾燥材の特徴 1

自然のままの色と香り、内部割れがほとんど無い乾燥材

木材の一般的な乾燥方法である高温蒸気乾燥は、木材を短時間で乾燥させるため、自然な色合いや香りが失われ、木材の内部に割れを生じることがあります。

大分方式乾燥材は、高温乾燥機の使用を必要最小限にとどめ、自然の力を活用しながらゆっくりと乾燥するため、内部割れがほとんど無く、天然乾燥材に近い木材本来の色と香りを残した乾燥材です。

大分方式乾燥材の特徴 2

CO₂を削減、地球にやさしい乾燥材

大分方式乾燥材は、3ヵ月から半年間、自然の力を存分に活用した天然乾燥を行うことで、生産工程における二酸化炭素の発生が削減できます。

人にやさしい高品質な乾燥材は、地球にやさしい乾燥方法で作られているのです。



乾燥前処理2日程度



3ヵ月から半年間の天然乾燥

大分方式乾燥材の特徴 3

品質管理を徹底した乾燥材

木材は自然の素材ですから、その品質にはどうしてもばらつきがあります。だからこそ製品の品質管理は重要です。

大分方式乾燥材として製品を生産・出荷するためには、生産工場が大分県産材流通情報センターの定める品質管理基準に基づき、認証を受けることが義務付けられています。

認証を受けた工場は、含水率や割れ、材色を全数検査するほか、大分県産材流通情報センターや大分県農林水産研究センター林業試験場から、出荷体制や生産体制の技術的指導を受けて、安定した品質の確保に努めています。



工場認証検査